

学力の現状とこれからの取組

今年度から、小4と中1でも宮崎県の学力テストが始まりました。これから毎年、小4、小5、中1、中2で宮崎県の学力テスト、小6と中3で全国学力テストを行います。これで、1人1人の子供の小4から中3までの6力年の学力を経年で比較することができるようになります。

全国でも宮崎県は30位代と厳しい状況にありますが、小林市も同じ状況であることに変わりはありません。ですが、このように経年を見ていくことで、私たちの取組も、子供たちの実態に即して無駄なく行えますし、その検証もできるようになるので、各学校も今年度からの対策が正念場であり、これから勝負だと思っています。小手先の対策では効果は期待できません。今回の結果を分析すると、西小林小に限らず、現在の子供たちの抱える課題が浮き彫りになってきました。それは、すなわち私たち教える側の課題でもあります。それは、

- 授業で学ぶ知識が、その場だけで終わってしまい、すぐに忘れてしまう。応用ができない。
- 簡単な言葉の意味を知らない子供が多く、問題文を正しく理解できない。
- 問題文を解くスキルが身に付いていない。又は、長文の問題文が何を求めているか、どう答えればいいのか分からない。

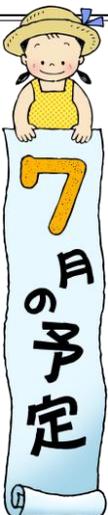
というようなことです。つまり、保護者や地域の皆様が受けてきたであろう、教科書に書いてあることを先生が説明したり、類似問題を自分で考えたりする授業だけでは、学力が身に付かない。ということです。今回の結果を受けて、「何をすればいいか」が明確になりました。

「つながりと徹底」「知的好奇心」

私の学校経営ビジョンは、一言でいうと「つながりと徹底」ですが、やはりそれに尽きます。つまり、授業で学習した知識を次の単元や、日常生活につなげて考えられる。また、計算のやり方等基本的な力は、身に付くまで徹底して行うことです。それで、これから以下の取組を行います。

- 授業は、「自分で考え」「みんなで考え」「みんなが分かる」を合言葉に、課題を自分たちで解決していく授業を行う。
- 自分の机の周りに国語辞典と本を1冊入れた袋を準備し、分からない言葉はすぐに調べたり、すきま時間で読書がしたりできるようにする。
- タブレットを教室に常時設置し、分からないことをすぐに検索できるようにする。
- 家庭学習は、基礎的な力が付くように、授業のつながりから、自分で内容を考えて行う。
- 宿題は、基本的な知識を活用する力が身に付くように、応用問題を中心に出す。
- 放課後に、応用問題を解くためのスキルを身に付ける時間を確保し、指導する。また、WEB単元学習を使って、基礎的な知識が身に付くまで徹底して取り組ませる。

能力＝素質×努力（勉強）という法則があるそうです。「やればできる子」は「やらなければできない子」、生まれながらの素質があってもやはり、努力（勉強）をしなければ、能力は身に付かないということですね。子供たちの可能性を最大限伸ばせるよう、また、子供たちの知的好奇心を刺激するような取り組みを行っていきたいと思います。



- 2日(日)ふれあい参観日 学級懇談
- 4日(火)社会科見学(3年:公共施設) クラブ活動(60分) 安全点検
- 5日(水)読み聞かせ、教育相談 西諸みんなで人権を考える取組
- 6日(木)学校訪問、ALT訪問
- 7日(金)清掃班会、プール清掃(5年)
- 11日(火)委員会活動
- 12日(水)~14日(金) 宿泊学習(5年)
- 18日(火)水泳納会(3・4年生) クラブ活動、ALT訪問

- 19日(水)水泳納会(1・2年生) 夏休み図書貸出(1・2年生)
- 20日(木)水泳納会(5・6年生) 夏休み図書貸出(5・6年生)
- 21日(金)全校朝会 給食着回収 集団下校 夏休み図書貸出(3・4年生)
- 22日(土)夏季休業開始 校内キャンプ(6年)
- 23日(日)校内キャンプ(6年) そうめん流し(まちづくり協議会)
- 25日(火)小林市小体連水泳大会(5、6年)
- 24日(月)~31日(月) 個人面談期間

*12日~20日 夏の交通安全県民総ぐるみ運動 *13日~22日 水泳大会練習期間

6年生の遠足「大浪池」に行ってきました。

5月30日(火)に、6年生の遠足で「大浪池」に登山に行ってきました。梅雨に入っていたのですが、晴天に恵まれて、深い青の神秘的な色をした大浪池を見ることができました。今、韓国岳に大浪池からしか登れないことや、ちょうどミヤマキリシマが見頃ということもあり、多くの登山客がいました。中には、中国本土や上海から来た方もいて、「ニーハオ」と挨拶しながら、ちょっとした国際交流もできました。また、新燃岳にも1番近くから土石流の跡も確認でき、とても迫力がありました。車酔いした子もいましたが、全員元気に全行程を歩ききりました。西小林の子供たちは、さすがに体力がありますね。この後、スポーツ少年団の練習に参加したということでしたので、頼もしい限りです。



【大浪池をバックにチーズ】

今年の目標は50m泳げること

プール開きを6月8日と9日に行いました。今年の高学年の目標は、50mを泳げるようになることです。理由は、海でボートが転覆した、川に誤って落ちてしまった、という時に25m位泳げたからって、命は救えないからです。速く泳ぐ競泳型の泳ぎも大事ですが、長くゆっくり泳ぐ泳ぎ方を覚えることはもっと大事です。浮いてさえいれば助かりますからね。

そこで、今年はタートルスイミングクラブのコーチをしている東先生に週に1回来ていただき3年生以上の指導をしていただいています。息継ぎや体の力を抜く疲れない効率的な泳ぎ方のコツを覚えた子供たちがどんどん記録を伸ばしています。50m泳いだら、すぐに100m泳げるようになりますから、子供の力は無限大です。これから1カ月半、子供たちのがんばりに期待したいと思います。



PTA ミニソフトバレー大会

6月18日(日)に、小学校、地区体育館、中学校体育館の3会場で、PTA ミニソフトバレー大会が行われました。梅雨の曇り空でしたが思ったより涼しく、皆さん和気あいあいと楽しくゲームができました。午前中は予選リーグ、午後は決勝リーグが行われ、下記のチームが見事優勝しました。どのチームも試合を重ねるごとにチームワークがよくなり、シーソーゲームの見応えのある試合が多かったです。この団結力がこれからのPTA活動でも大いに生かされることと思います。皆さんお疲れ様でした。

【優勝チーム】

- 1位リーグ優勝 南西4区B(鬼塚、榎の木・平木場)
- 2位リーグ優勝 南西2区(芹川・栄之浦・大出水)
- 3位リーグ優勝 北西3区B(勸請・西ノ原・忠臣田橋谷)

8月6日には、市のPTAバレー大会があります。また団結してがんばりましょう。



体力テストをがんばりました。

5月31日(水)に、新体力テストの測定を全校児童で行いました。種目は「上体起こし」「反復横跳び」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」の5種目です。今年は、運動会が終わった後なので、子供たちの体もとてもよく動いていたと思います。

記録のよかった何人かは「ワールドアスリート発掘プロジェクト」に応募しようと思っています。未来のアスリートが出るかな？



【上体起こし】

スポーツ少年団が県大会に出場しました。

スポーツ少年団の子供たちも、日頃から一生懸命練習をしており、今年は西小林少女バレーチームと、西小林小少年野球チームが県大会出場を果たし、6月24日と25日に県大会が行われました。

【西小林少女バレーチーム】

会場：綾町照葉ドーム体育館

結果：予選リーグで、丸野少女バレーに2-1で勝利し、大淀少女バレーチームに2-0で敗れました。残念ながら決勝リーグは逃しましたが、チームワークと頭脳プレーが光っていました。次につながる試合になりました。

祝！九州大会出場決定

【西小林少年野球チーム】

会場：川南運動公園野球場

結果：ベスト4まで勝ち上がっています。36年ぶりの九州大会出場権を得ていますが、雨天のため25日の大会は7月1日に延期になりました。9時から今度は全国大会に向けて準決勝に挑みます。決勝まで残れば、今年8月に行われる全国大会に出場します。